

上徳丸水稻組合「集落営農ビジョン」
(人材確保型支援・規模拡大・発展型支援・地域計画実現型支援)

※該当する支援メニューに○を記入

作成日：令和 7 年 4 月 14 日

修正日： 年 月 日

市町村名	八頭町	組織名	上徳丸水稻組合
1 地区の範囲 八頭町 上徳丸地区			
2 地区の概要			
水田面積 16.2 h a		主な水田栽培作物 水稻	
農家数 25 戸		地域内の農業を担う者の経営体数（見込）1 経営体	
認定農業者数 1 経営体		農業支援サービス事業体の経営体数 経営体	
3 組織の概要			
設立時期 （規約等の制定日）令和 7 年 2 月 23 日		構成農家数 15 戸	
組織形態（該当形態に○を記入）		・ 共同利用型 ・ 作業受託型 ・ 協業経営型	
役員の数・年齢 5 人（平均年齢 6 6 歳）			
オペレーターの数・年齢 7 人（平均年齢 6 4 歳）			
その他集落営農活動に参加している人数・年齢 8 人（平均年齢 5 3 歳）			
4 集落営農に対する基本方針			
【集落農業の現状と課題及び課題を解決するための対応方針】			
(1) 担い手の明確化及び水田利用集積目標 ※考え方（担い手をどう育成し確保していくか。農地賃借、機械の共同利用、作業受委託、生産の組織化などについて。） 集落内の稲作については、集積し機械の共同利用の効率化を図るため、利用組合を設立する。地区外の受託作業にも積極的に取り組む。			
(2) 水田の作付計画（水稻以外の作物を含む）、活用方針・具体策 ※考え方（今後伸ばしていく作物は何か。団地化・ブロックローテーション。作物の品質向上。）地区内に於いては、果樹も多く稲作との複合で経営の安定が図られている。今後も、複合と専作互いに協力し、持続可能な経営を維持する。			
(3) 農業用機械施設の効率利用 ※考え方（省力・低コスト化に向け、機械・施設をどのように有効利用していくか。今後整備が必要なもの、JAが整備している施設をどのようにするか。） 省力、低コスト化に向け、個人所有ではなく共同利用を進める。			
(4) 人材の確保、後継者育成に関する方針 ※考え方（新たな人材をどのように確保し、どのような方法で育成していくか。）			

若いオペレーターの育成を図るため、後継者等を講習会などに参加させる

(5) 経営多角化の方針・具体策

※考え方（どのような手法で多角化を図るか。新規作物の導入、販路拡大に向けた自主的な取組みなどについて。）
特になし

I 人材確保型支援実施計画 ※規模拡大・発展支援型支援のみを実施する場合は省略

1 人材確保のための取組方針

項目		実施年度		
		7 年度	8 年度	9 年度
人材育成研修	実務研修			
	免許取得	1 人	1 人	
	その他			
集落営農活動への参画				

2 畦畔管理の省力化のための取組

(1) グランドカバープランツ施工計画

施工場所：

施工対象面積（畦畔実面積）： ha

本田（＝水張）面積： ha

年数	内容	面積 (ha)	金額 (円)	実施年度
1 年目				
2 年目				
3 年目				

注 1）記入欄が不足するときは、適宜追加すること。

(2) 畦畔管理用機械導入計画

（機械利用対象畦畔面積 ha、本田（＝水張）面積 ha）

機械施設名	規格能力	台数等	金 額（円）	導入予定年月

(3) 畦畔管理用作業の状況

内容	現状 (年度)	事業実施後 (年度)
----	-------------	----------------

取組対象（予定）面積 (ha)		
取組対象面積当たり年間 作業時間		

注 1) 取組対象圃場について記載すること。
2) 記入欄が不足するときは、適宜追加すること。

3 園芸品目の試作

項目	実施年度		
	○年度	○年度	○年度
園芸品目の試作			

4 販わい活動への参画促進

項目	実施年度		
	○年度	○年度	○年度
販わい活動への参画促進			

II 規模拡大・発展型支援実施計画 ※人材確保型支援のみを実施する場合は省略

1 集積（経営、機械の共同利用及び作業受託）の目標

項目		現状	目標	令和 11 年度
農地の集積	地区内集積面積 A	0 h a		5.8 h a
	対象水田面積 B	7.9 h a		7.9 h a
	集積率 A/B	0%		73.4%
	地区外集積面積 C	0 h a		5.3 h a
	組織集積面積 A + C	0 h a		11.1 h a
経営の多角化への取組				

注 1) 経営の多角化への取組は、該当する場合のみ記載すること。
注 2) 目標年度は、事業実施最終年度の翌年度から 3 年以内のいずれかの年度で設定すること。
注 3) 経営面積等の現状及び目標は、集積状況一覧（別表 1、2）により作成すること。

2 農業用機械施設の整備方針

機械施設名	規格能力	台数等	金 額 (円)	導入予定年月	本事業による導入機械に○
コンバイン	4 条刈り	1	8,900,000 円	7 年 8 月	○
田植え機	5 条植え	1	3,197,700 円	9 年 1 月	○

Ⅲ 添付資料

1 人材確保型支援

- (1) 研修計画一覧（参考様式）
- (2) 規約の写し及び計画の根拠が分かる資料（総会資料又はビジョン作成話合いの議事録等）

2 規模拡大・発展型支援

- (1) 集積状況一覧（別表 1、2）
- (2) 機械の利用計画（別紙）
- (3) 規約の写し及び計画の根拠が分かる資料（総会資料又はビジョン作成話合いの議事録等）